

兵庫教育大学大学院学校教育研究科 教育実践高度化専攻 小学校教員養成特別コース

神戸キャンパスで教育実践力と魅力
のある先生を育てる

あきらめずに自分の夢を実現しよう！

子どもの成長にきっかけを与えることのできる、教育実践力のある教師になってみませんか。年齢、今置かれている状況は全く関係ありません。**真剣に学校教育について学んでみよう、もっと自分を高めようと思った時がスタートライン**です。将来小学校で教職に就きたいと考えている人を幅広く受け入れます。2年制コースと3年制コースがあります。

〈2年制コース〉

〈3年制コース〉

対象：既に小学校教諭1種または2種の免許状を取得している人（本学の学内進学希望者を含む）

これまでに培った力をより一層実践的なものへ向上させ、自信を持って小学校の教壇に立てるよう、教員としての確かな基盤を身に付けることを目的としています。修了時には小学校教諭専修免許状を取得できます。

対象：これから小学校教諭免許状を取得しようとする人

本学学校教育学部の教職課程と教職大学院の授業科目を併せて履修することで、小学校教諭専修免許状を取得できます。現在小学校教諭免許状を取得していない人でも、一から小学校教諭免許状を取得できます。

学びのフロー図

年次 コース	1年次		2年次		3年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
3年制 コース	小学校免許取得必修科目	小学校免許取得必修科目 専門科目	小学校免許取得必修科目 専門科目	初等実習 専門科目	共通基礎科目・専門科目	共通基礎科目・専門科目
2年制 コース	共通基礎科目・専門科目	共通基礎科目・専門科目	共通基礎科目・専門科目	共通基礎科目・専門科目	共通基礎科目・専門科目	共通基礎科目・専門科目
	インターンシップ (通年60時間以上)	インターンシップ (通年60時間以上)	インターンシップ (通年60時間以上)	実地研究Ⅰ・Ⅱ	実地研究Ⅰ・Ⅱ	インターンシップ (通年60時間以上)
				学校教育基盤実習 指導力向上実習	学校教育基盤実習 (4週) 小学校指導力向上実習 (6週)	学校教育基盤実習 (4週) 小学校指導力向上実習 (6週)

■ は大学院実習科目

コースワークの特徴

- 「学級経営」「教科等の指導」「個の課題」「教育実践研究」「教科の授業内容・方法」の5分野で構成された多様な授業科目
- 大学と学校現場が一体となって行う長期にわたる教育実習
- 少人数ゼミを通したきめ細かな指導

※ 2027年度より3年制コースは神戸キャンパスに移転します！
2年制コースは2028年度より神戸キャンパスに移転します！

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 河邊昭子 ※2	音楽科教育学	教科・領域の内容・指導法研究I (音楽科)、教育実地基礎研究I (レポート作成法の研究)	小学校教員に求められる実践的指導力とともに、自己の人間力を向上させることができるコースです。
 教授 勝見健史	国語科教育学(単元学習論)、教育方法学(評価論)、教育的鑑識眼	授業における実践的評価論、総合学習の創造過程と評価法	評価論を視点とした授業改善、特に単元組織・質的評価・学習支援に関する実践的研究に取り組んでいます。
 教授 鈴木正敏	幼児教育、多文化教育	教育実地基礎研究II、授業におけるICT活用	実践的な知見を基に、子どもたちが楽しく主体的に学べる授業づくりを目指します。
 教授 山本智一	理科教育・科学教育、アーギュメント、総合学習	教科・領域の内容・指導法研究IV(理科)、総合学習の創造過程と評価法	科学的な説明活動の授業への導入や、社会における科学問題の教材化に関する指導法開発に取り組んでいます。
 教授 別惣淳二	教育実習、教師教育、教育経営学	教育実地基礎研究I、教育実地基礎研究II	本コースでは、学生が自身の教育実践を対象として研究し、論文にまとめる力を身に付けてほしいと思います。
 教授 加藤久恵	算数教育、数学教育	教科・領域の内容・指導法研究II(算数科)、教育実地基礎研究I(レポート作成法の研究)	子どもが算数を学ぶ楽しさを感じられるよう、子どもの考え方やつまづきを生かした授業づくりを研究しています。
 准教授 真田穂人	学校心理学、生徒指導・教育相談、特別活動	特別活動指導と自治的文化的活動の展開、学級づくりと教育的関係の構築	子どもたちが、平和で民主的な社会をつくる力を育てる授業・学級・学校づくりを、共に追究しましょう。
 准教授 吉川修史	生活科教育学、社会科教育学	初等社会科教材研究・授業づくり、教科・領域の内容・指導法研究III(社会科)	子ども自らが自立し、生活を豊かにしていく生活科授業や、自分なりの社会への関わり方を考えることのできる社会科授業づくりを追究しましょう。
 助教 山中勇夫	国語科教育学、文学教育学	教科・領域の内容・指導法研究I(国語科)、教育実地基礎研究I(レポート作成法の研究)	子どもたちが言葉や物語と十分に向き合いながら(世界)を広げていく。そんな学びがいのある、楽しい授業づくりについて、一緒に考えていきましょう。

※1:2027年3月退職予定 ※2:2028年3月退職予定

◆小中連携教育プログラム

小中連携教育プログラムを受講すれば、2年制コース・3年制コースのいずれでも中学校教諭2種免許状(国・社・数・英いずれかの教科)の所要資格を取得することができます。詳細は、冊子「大学院案内」をご覧ください。

教育実習総合センターによる教員採用に向けた手厚いサポート

県・市教育委員会の経験や公立の学校長等の経験豊かなスタッフが、実践的指導力を高める「教育実践サポート」を実施するとともに、大学院の教育実習及び教員採用試験対策の支援を行います。入学時から修了時まで継続的に同じ学生に関わるため、個の成長や課題に応じたアドバイスを受けることができます。

詳しいことは、こちらで紹介しています

- 小学校教員養成特別コース ホームページ
https://www.hyogo-u.ac.jp/course/adv_edu/
- 【YouTube】 小学校教員養成特別コース紹介動画

コース
ホームページ



YouTube

